

オオトラカミキリ

トドマツなどモミ属の生きている木の幹や枝に幼虫が潜り、樹皮の内側や材の表面を食べる。潜った痕は茶色の湾曲した変色と
なって現れる。または、円形に隆起したり樹皮が剥がれ、その中央に直径約10mmの丸い穴がある。

食害された木は材質が不良になったり、風で折れやすくなる。被害は一般にまれである。



1. トドマツ被害木. 左, 1971/2, 美深町.

2. 成虫.

右, 1969/9/2, 穂別町.



【学名】 *Xylotrechus villioni*

【分類】 コウチュウ目 (Coleoptera), カミキリムシ科 (Cerambycidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国; シベリア東部.

【生態】

成虫は夏に出現。産卵は下枝、ときに幹に行われる。幼虫は主に形成層や材の表面を食べる。幼虫は小さなときは直線またはじ
ぐざぐに穿孔するが、大きくなると渦巻き状に穿孔し、その中心で材内に穿孔して蛹になる。幼虫の穿孔痕は主に材表面にみら
れるが、途中で2回材内に潜る部分があり、越冬のためと考えられる。1世代に2年を要する。

【被害と防除】

檜山地方や胆振地方のごく一部で被害多発林分が確認されている。被害は樹勢が衰えた林分あるいは手入れの遅れた林分に多
い。また、被害木は平坦地や緩斜面に多く、特に沢に沿った林縁に多いといわれている。

被害多発林分が確認されている地域では、被害がしやすい立地環境でのトドマツ造林は避けた方がよい。また、適切な施業を実
施して健全な林分を育てる。除間伐の際には被害の有無を調べ、被害木を除去すること。

【文献】

*1973. 上条一昭, 鈴木重孝. トドマツを加害するオオトラカミキリ. 北海道林業試験場報告, 11: 113-119. (生態, 被害)

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

1994. 上条一昭. オオトラカミキリ. 小林富士雄, 竹谷昭彦, 編集, 森林昆虫, 総論・各論: 180-181. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

オオトラカミキリ kamikiri/ootora/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/7/27.

higai.JPG, seichu.JPG

「写真1～2」上条一昭, 北海道立林業試験場, 1969-1971.